

浅草人情そぞろ歩き

雅奈男実

推古天皇三六年 檜前浜成・竹成兄弟は隅田川に漁へ出て
投網に 魚の代りに観音仏像引き上げた
それを知った村長の土師真中知は開基して 礼拝供養したのが縁起の浅草寺
浅草寺は秘仏の *1江戸人情の浅草観音様 が見守るお寺

江戸の伝統工芸職人や 落語や芝居の芸人や 天井・どぜう・寿司職人や
はたまた遊女や芸者集まりて
浅草は 自然と江戸人情が集まる下町

着物着て人力車に乗り 色々な浅草穴場を聞きながら 江戸風情や情緒の街
並眺め
浅草の仲見世や伝法院通りをそぞろ歩き

あんみつや人形焼を食べながら 次に江戸切子・あめ細工・とんぼ玉のどの
工房で自ら作るか考へては 浅草の人情を我は味はふ
我はやっぱり通の 日本酒好きならばこそ 我が新たに作り上げた伝統工芸
の
我が江戸切子に酒注ぎ 浅草の江戸の町の夜を味はふ

さういふところが浅草の 江戸人情なり

見解：

推古天皇三六年・飛鳥時代。

江戸人情より供養された 江戸人情の浅草観音様の見守る 浅草寺。

その浅草には 自然と浅草人情は 集まるよ。

*1 我悟る 浅草観音様は 情の仏様であると。

日本酒を飲むなら 我が江戸切子。

浅草は江戸人情の町。